

# 2012年3月期 第2四半期 決算説明資料



株式会社昭文社

証券コード: 9475

## 内容

1. 2012年3月期 第2四半期 連結業績概要 ..... 2
2. 2012年3月期 第2四半期 セグメント別業績概要 .. 11
3. 2012年3月期 第2四半期 分類別業績概要 ..... 15
4. 2012年3月期 連結業績の見通し ..... 19
5. 2012年3月期 第2四半期までの取り組み ..... 25
6. 今後の経営戦略 ..... 28



### 【記載数値について】

表示単位未満は切り捨てています。

%表示は小数第1位未満を四捨五入しています。

# 1. 2012年3月期 第2四半期 連結業績概要



# 第2四半期業績ハイライト

売上高	<b>74億97百万円</b>	前年同期比	<b>2.9%</b>
営業利益	<b>5億38百万円</b>	前年同期比	<b>△25.8%</b>
四半期純利益	<b>5億22百万円</b>	前年同期比	<b>△3.7%</b>
現金及び現金同等物の残高	<b>87億24百万円</b>	前期末差	<b>8億49百万円</b>
自己資本比率	<b>87.4%</b>	前期末比	<b>2.5%</b>

# 第2四半期 連結業績(前年同期比)

(百万円)	2011年3月期 第2四半期累計			2012年3月期 第2四半期累計		
	実績	売上比	前年同期比	実績	売上比	前年同期比
売上高	7,285	100.0%	0.7%	<b>7,497</b>	<b>100.0%</b>	<b>2.9%</b>
電子事業	2,154	29.6%	14.8%	<b>2,211</b>	<b>29.5%</b>	<b>2.7%</b>
出版事業	5,130	70.4%	△4.3%	<b>5,285</b>	<b>70.5%</b>	<b>3.0%</b>
売上原価	4,548	62.4%	△7.9%	<b>4,814</b>	<b>64.2%</b>	<b>5.9%</b>
売上総利益	2,736	37.6%	19.2%	<b>2,682</b>	<b>35.8%</b>	<b>△2.0%</b>
販売費及び 一般管理費	2,010	27.6%	△4.0%	<b>2,143</b>	<b>28.6%</b>	<b>6.6%</b>
営業利益	725	10.0%	257.5%	<b>538</b>	<b>7.2%</b>	<b>△25.8%</b>
経常利益	742	10.2%	251.4%	<b>542</b>	<b>7.2%</b>	<b>△27.0%</b>
四半期純利益	542	7.4%	388.1%	<b>522</b>	<b>7.0%</b>	<b>△3.7%</b>

売上高は前年同期比2.9%の増加。出版事業での返品増、電子事業での原価増の影響があり、営業利益、経常利益、四半期純利益はいずれも減少しました。

# 第2四半期 連結業績(当初予想比)

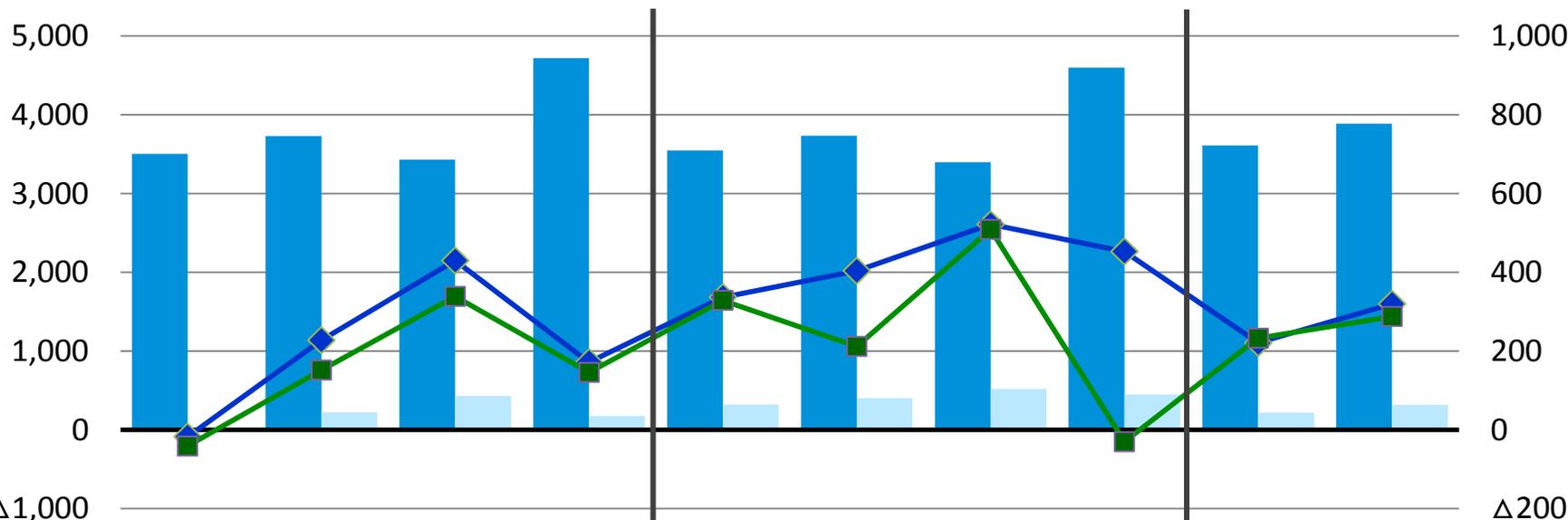
(百万円)	2012年3月期 第2四半期当初予想(累計)		2012年3月期 第2四半期累計		
	※当初予想	売上比	実績	売上比	増減
売上高	6,770	100.0%	<b>7,497</b>	<b>100.0%</b>	<b>723</b>
営業利益	△190	-	<b>538</b>	<b>7.2%</b>	<b>725</b>
経常利益	△220	-	<b>542</b>	<b>7.2%</b>	<b>757</b>
四半期純利益	△230	-	<b>522</b>	<b>7.0%</b>	<b>748</b>

※当初予想: 2011年5月13日発表予想

出版事業で東日本大震災の影響による返品が増加が想定を下回ったこと、新刊商品の販売が好調だったことなどの要因で、売上高は当初予想を大きく上回りました。メンテナンス費用やプロモーション費用の計上が下半期にずれ込んだ影響もあり、利益面でも予想を上回る業績となりました。

# 四半期別 連結業績推移(会計年度順)

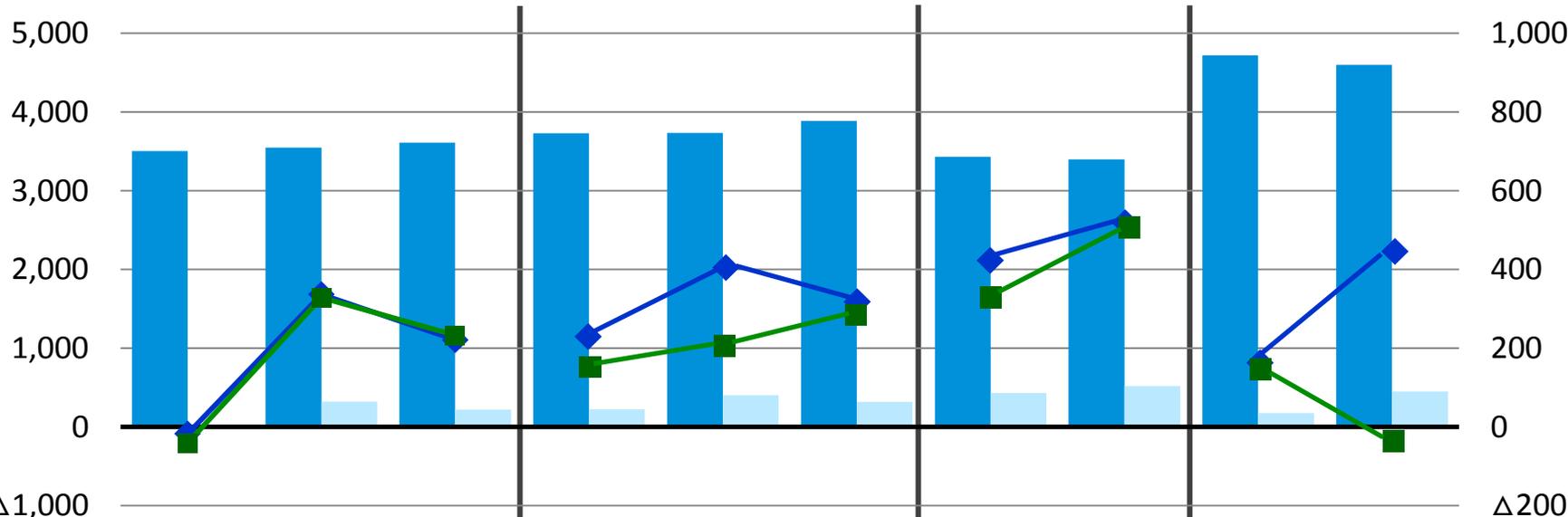
(百万円) 売上高、営業利益 (棒グラフ)      売上高      営業利益      経常利益      四半期純利益      (百万円) 経常利益、四半期純利益 (線グラフ)



(百万円)	2010 1Q	2Q	3Q	4Q	2011 1Q	2Q	3Q	4Q	2012 1Q	2Q
売上高	3,504	3,732	3,432	4,720	3,549	3,735	3,399	4,601	3,610	3,887
営業利益	△19	222	430	175	321	403	518	449	219	319
経常利益	△17	228	430	172	337	404	522	453	221	320
四半期純利益	△41	152	339	146	329	212	509	△30	233	288

# 四半期別 連結業績推移(各四半期別)

(百万円) 売上高、営業利益 (棒グラフ)      売上高      営業利益      経常利益      四半期純利益      (百万円) 経常利益、四半期純利益 (線グラフ)



(百万円)	2010 1Q	2011 1Q	2012 1Q	2010 2Q	2011 2Q	2012 2Q	2010 3Q	2011 3Q	2010 4Q	2011 4Q
売上高	3,504	3,549	3,610	3,732	3,735	3,887	3,432	3,399	4,720	4,601
営業利益	△19	321	219	222	403	319	430	518	175	449
経常利益	△17	337	221	228	404	320	430	522	172	453
四半期純利益	△41	329	233	152	212	288	339	509	146	△30

# 連結貸借対照表 (概要)

(百万円)	2011年3月期 期末		2012年3月期 第2四半期末			概要
	実績	構成比	実績	構成比	増減	
資産合計	33,555	100.0%	32,676	100.0%	△879	
流動資産	15,098	45.0%	14,770	45.2%	△328	現金及び預金 +848 受取手形及び売掛金 △634 商品及び製品 △560
固定資産	18,456	55.0%	17,905	54.8%	△550	データベース △280 投資有価証券 △133
負債合計	5,077	15.1%	4,128	12.6%	△949	
流動負債	4,299	84.7%	3,674	89.0%	△625	支払手形及び買掛金 △322 短期借入金 △125
固定負債	778	15.3%	453	11.0%	△324	長期借入金 △82 退職給付引当金 △192
純資産合計	28,477	84.9%	28,548	87.4%	70	
株主資本	28,321	99.5%	28,511	99.9%	189	利益剰余金 +189
その他の 包括利益累計額	155	0.5%	36	0.1%	△119	
負債・純資産合計	33,555	100.0%	32,676	100.0%	△879	

現金及び預金が増加した一方で、売上債権、棚卸資産、データベースなどが減少し、総資産は前期末2.6%減少。借入金の減少などに伴い、負債も減少。自己資本比率は87.4%となり、財務内容は一段と健全になりました。

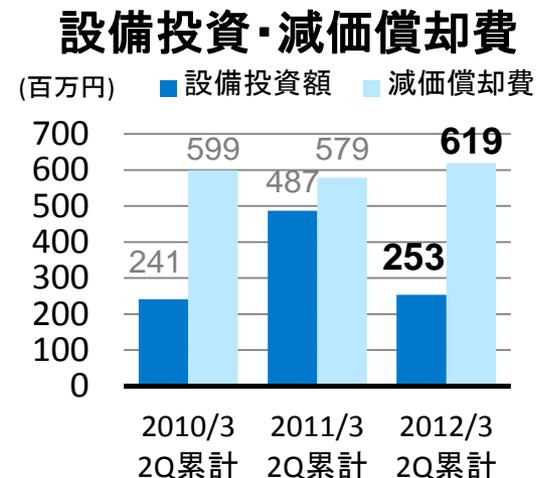
# 連結キャッシュ・フロー計算書 (概要)

(百万円)	2011年3月期 第2四半期累計	2012年3月期 第2四半期累計	2012年3月期 主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,414	<b>1,656</b>	税金等調整前四半期純利益 521 減価償却費及びその他の償却費 619 退職給付引当金の減少 売上債権の減少 たな卸資産の減少
投資活動によるキャッシュ・フロー	△441	<b>△233</b>	無形固定資産の取得
財務活動によるキャッシュ・フロー	△368	<b>△573</b>	配当金の支払 短期借入金の純減 長期借入金の返済
現金及び現金同等物の増減額	604	<b>849</b>	
現金及び現金同等物の 四半期末残高	7,571	<b>8,724</b>	

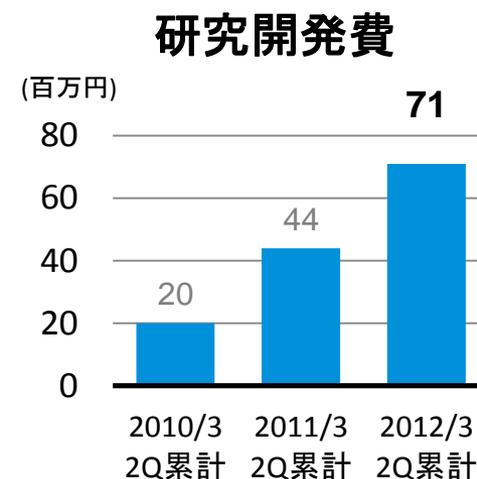
営業CFは、売上債権・棚卸資産の減少などで16億56百万円の収入がありました。  
現金及び現金同等物は前期末と比較して8億49百万円の増加となりました。

# 設備投資・減価償却費・研究開発費

(百万円)	2010/3 2Q累計	2011/3 2Q累計	2012/3 2Q累計	
		A	B	増減(B-A)
設備投資額	241	487	253	△233
有形固定資産	11	39	45	5
無形固定資産	230	447	208	△239
減価償却費	599	579	619	40
有形固定資産	148	128	132	3
無形固定資産	450	450	487	37
研究開発費	20	44	71	27



※設備投資額及び減価償却費は無形固定資産分を含めています。

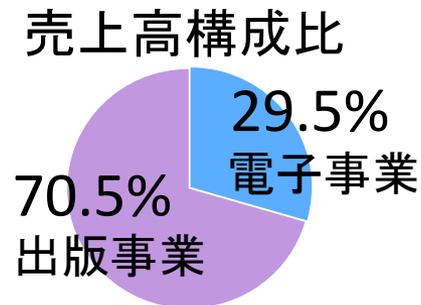


## 2. 2012年3月期 第2四半期 セグメント別業績概要



# セグメント別業績ハイライト

セグメント	売上高	セグメント利益
電子事業	➡	➡
出版事業	➡	➡



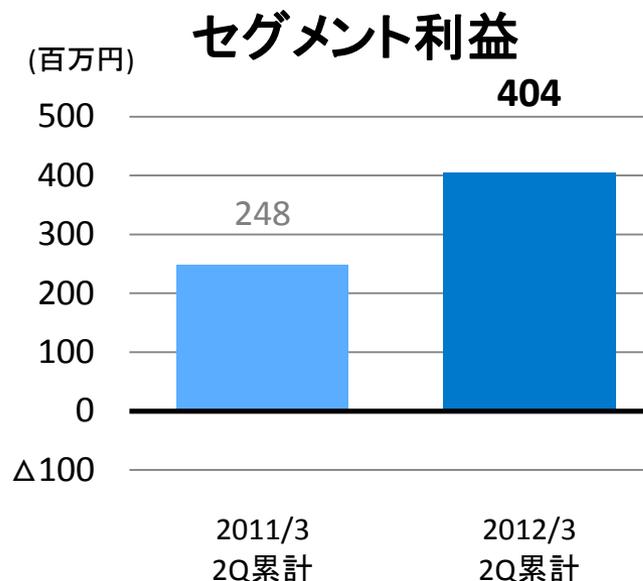
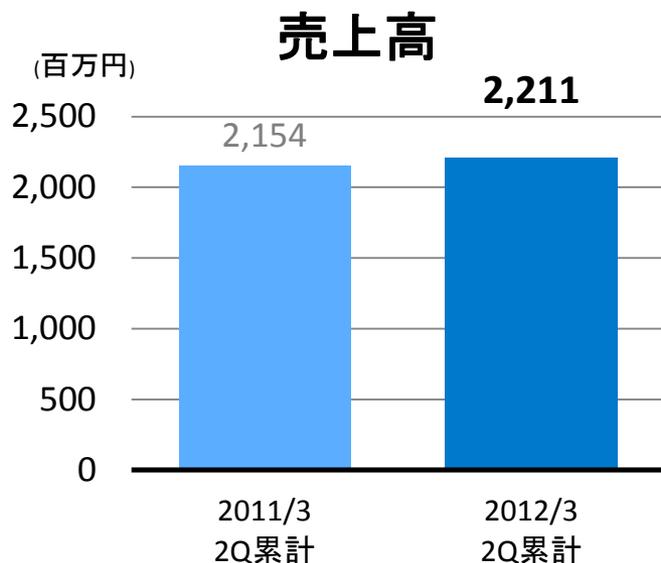
## [電子事業]

ナビゲーション事業が好調に推移し、  
2010年3月期第2四半期から3期連続の増収を達成。

## [出版事業]

売上高の減少傾向に歯止めがかかり、前年同期比で  
増収。前年同期比で減益となったものの、利益も確保。

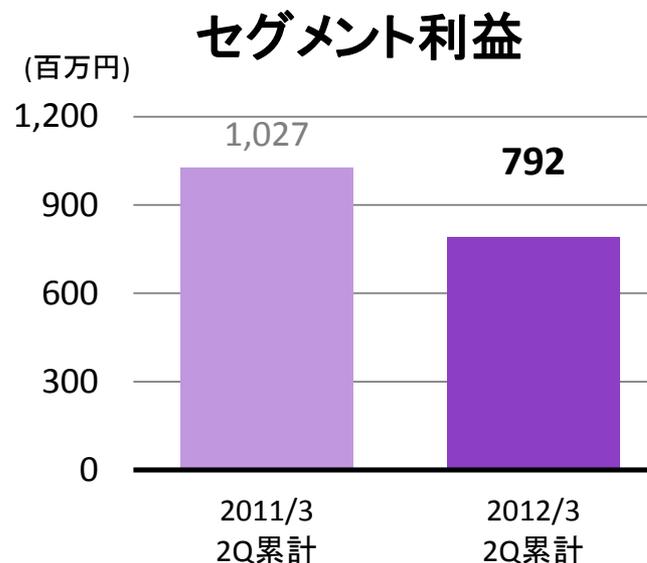
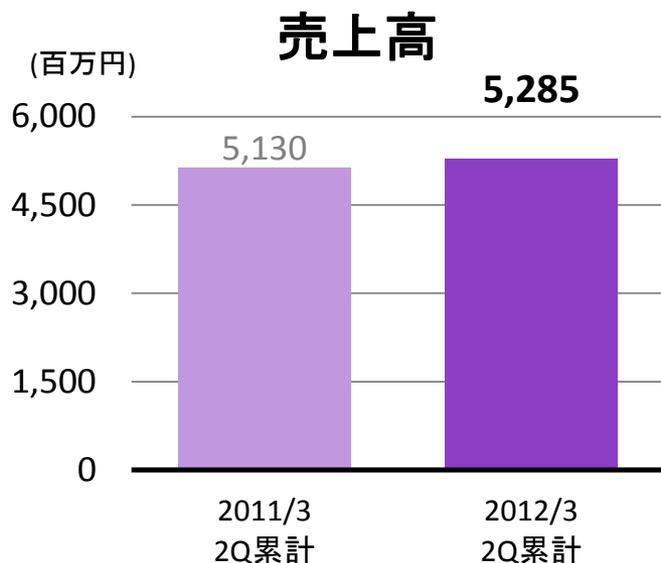
# セグメント情報 電子事業



(百万円)	2011年3月期 第2四半期累計	2012年3月期 第2四半期累計	
	A	B	増減(B-A)
売上高	2,154	2,211	57
セグメント利益	248	404	156

簡易型カーナビゲーション(PND)向けアプリケーションソフト『マップルナビ』が増収増益に大きく貢献。メンテナンスの実施が下期にずれ込んだことも増益の一因。

# セグメント情報 出版事業



(百万円)	2011年3月期 第2四半期累計	2012年3月期 第2四半期累計	
	A	B	増減(B-A)
売上高	5,130	5,285	154
セグメント利益	1,027	792	△235

『工場見学』シリーズのラインナップ強化や新刊商品の『ことりっぷiforte』5点の出版などによって、売上高は前年同期と比べ大幅に増加。一方、新刊商品の出版による原価率の上昇や返品が増加などのためセグメント利益は減少しました。

# 3. 2012年3月期 第2四半期 分類別業績概要



# 分類別情報の定義

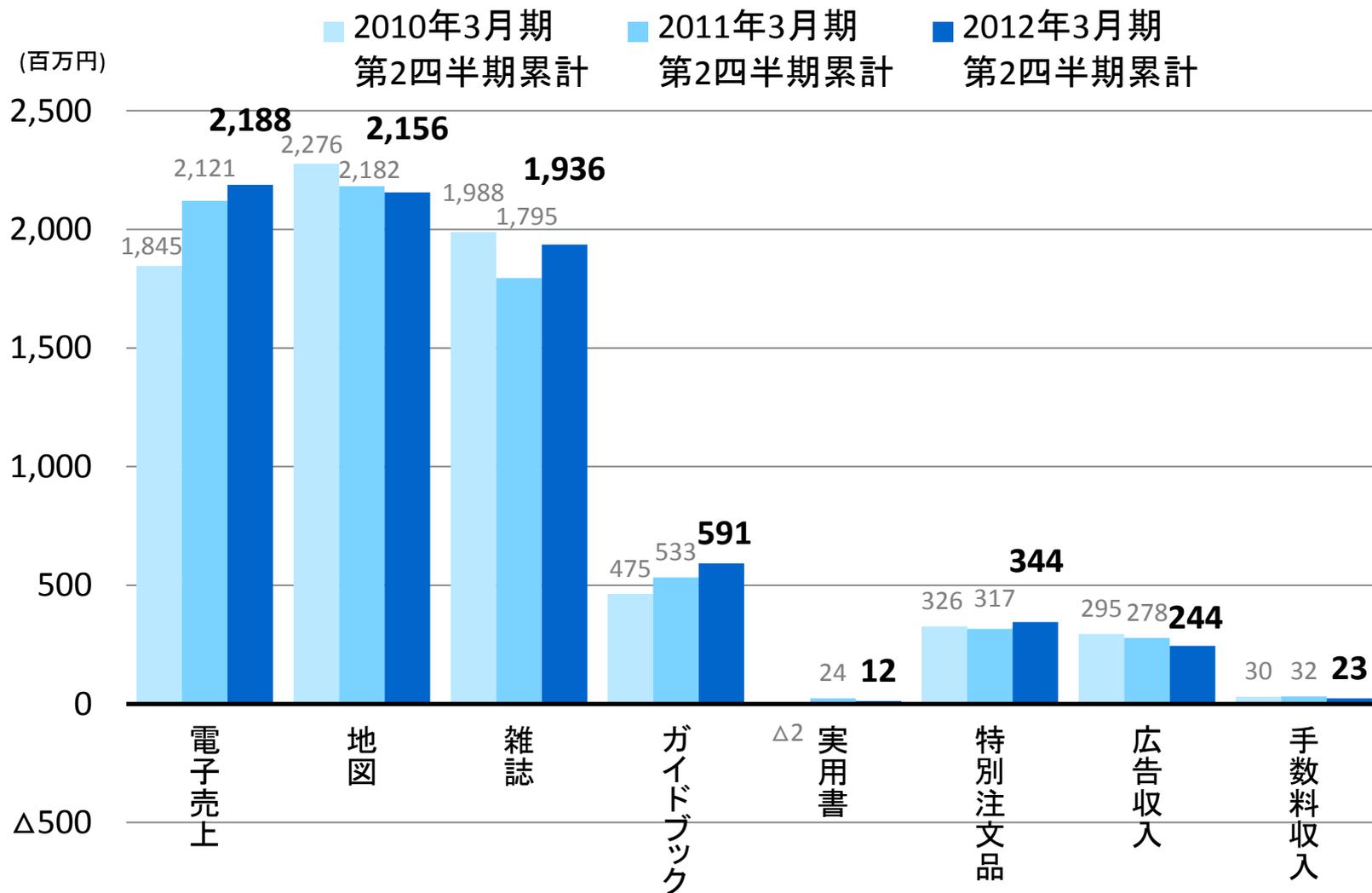
分類名称		主な商品・サービス
電子売上		地図配信サービス『ACCESS MAPPLE』、PND向けアプリケーションソフト『マップルナビ』、電子地図ソフト『スーパーマップル・デジタル』
市販出版物	地図	『スーパーマップル』『街の達人』『県別マップル』『ツーリングマップル』『なるほど知図帳』『都市地図』
	雑誌	『まっぷるマガジン国内地域版』『まっぷるマガジン海外地域版』『昭文社ムック』
	ガイドブック	『ことりっぷ』『たびまる』『ぶらっと散歩コース』
	実用書	『なるほどkids』
特別注文品		クライアント(企業、官庁など)のニーズに合わせたオリジナル商品
広告収入		当社出版物に対する広告掲載、タイアップ広告
手数料収入		宿泊予約手数料

# 分類別売上高

(百万円)	2010年3月期 第2四半期累計		2011年3月期 第2四半期累計		2012年3月期 第2四半期累計		
	実績	構成比	実績(A)	構成比	実績(B)	構成比	増減(B-A)
電子売上	1,845	25.5%	2,121	29.1%	<b>2,188</b>	<b>29.2%</b>	<b>66</b>
市販出版物合計	4,738	65.5%	4,534	62.2%	<b>4,696</b>	<b>62.6%</b>	<b>161</b>
地図	2,276	31.5%	2,182	30.0%	<b>2,156</b>	<b>28.8%</b>	<b>△25</b>
雑誌	1,988	27.5%	1,795	24.6%	<b>1,936</b>	<b>25.8%</b>	<b>141</b>
ガイドブック	475	6.6%	533	7.3%	<b>591</b>	<b>7.9%</b>	<b>58</b>
実用書	△2	－	24	0.3%	<b>12</b>	<b>0.2%</b>	<b>△12</b>
特別注文品	326	4.5%	317	4.4%	<b>344</b>	<b>4.6%</b>	<b>27</b>
広告収入	295	4.1%	278	3.8%	<b>244</b>	<b>3.3%</b>	<b>△34</b>
手数料収入	30	0.4%	32	0.4%	<b>23</b>	<b>0.3%</b>	<b>△9</b>
合計	7,237	100.0%	7,285	100.0%	<b>7,497</b>	<b>100.0%</b>	<b>212</b>

ナビゲーション関連の販売が好調に拡大し、電子売上は伸長。また、書店店頭での販売が堅調に推移したことで、市販出版物の売上も総じて伸びました。

# 分類別売上高推移



# 4.

## 2012年3月期 連結業績の見通し



# 通期連結業績予想

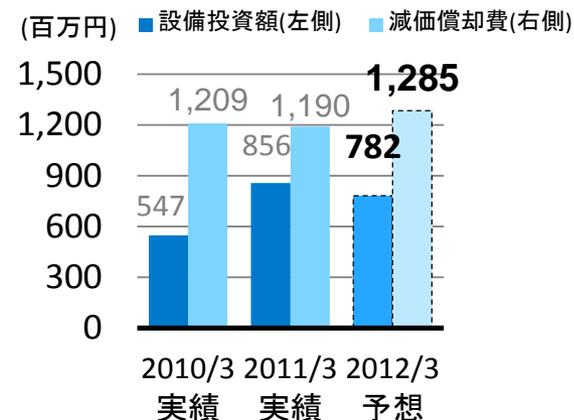
(百万円) (1株当たり当期純利益は円)	2011年3月期 実績  A	2012年3月期 当初予想 (2011年5月13日発表)	2012年3月期 修正予想 (2011年10月28日発表)			
			B	売上比	前年実績比	増減(B-A)
売上高	15,285	15,070	15,370	100.0%	0.6%	84
営業利益	1,694	640	880	5.8%	△47.8%	△810
経常利益	1,718	590	840	5.5%	△51.0%	△876
当期純利益	1,021	510	820	5.3%	△20.0%	△204
1株当たり 当期純利益(円)	61.40	30.67	49.31	-	-	-

出版事業での返品増加、電子事業での受注減少などが予想され、売上高は伸び悩む見通し。営業利益は、メンテナンス関連費用の計上やスマートフォン関連への投資の増加があり、対前年で減益、対当初予想では若干の増益にとどまるものと見込んでいます。

# 設備投資・減価償却費・研究開発費 予想

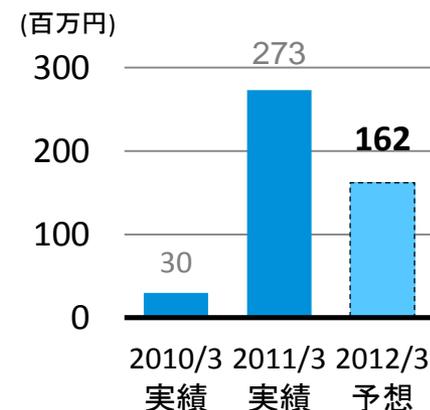
(百万円)	2010/3	2011/3	2012/3	
	期末実績	期末実績	期末予想	増減
設備投資額	547	856	<b>782</b>	<b>△74</b>
有形固定資産	33	143	<b>152</b>	<b>9</b>
無形固定資産	514	713	<b>629</b>	<b>△83</b>
減価償却費	1,209	1,190	<b>1,285</b>	<b>95</b>
有形固定資産	296	271	<b>268</b>	<b>△2</b>
無形固定資産	913	919	<b>1,017</b>	<b>97</b>
研究開発費	30	273	<b>162</b>	<b>△110</b>

## 設備投資・減価償却費

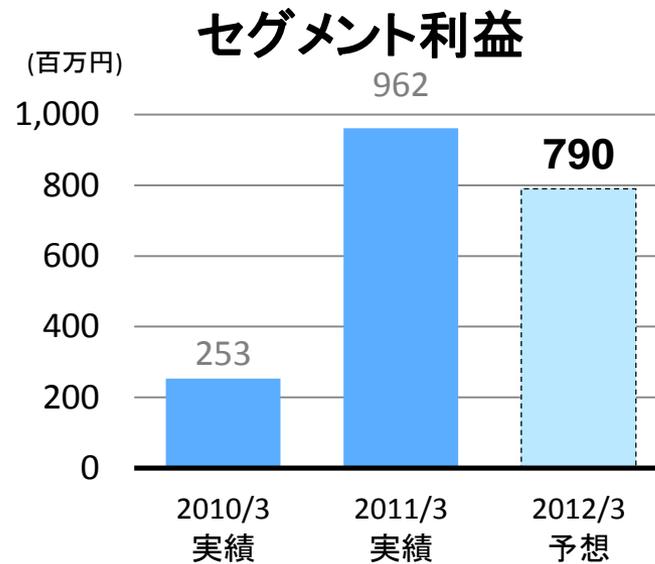
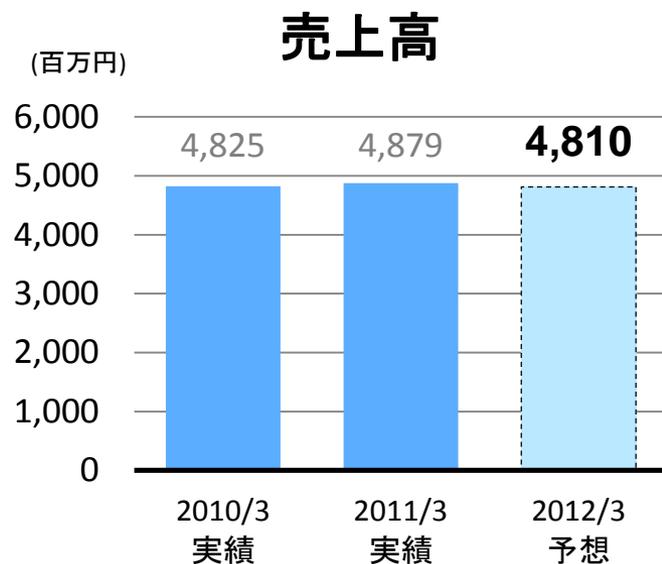


※設備投資額及び減価償却費は無形固定資産分を含めています。

## 研究開発費



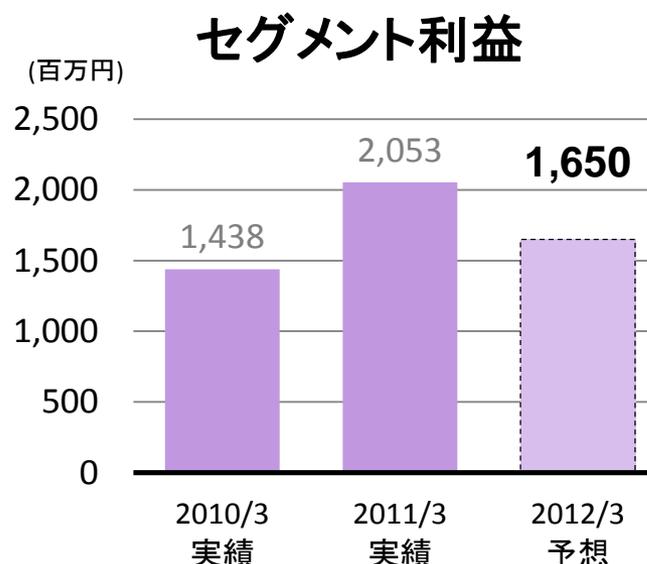
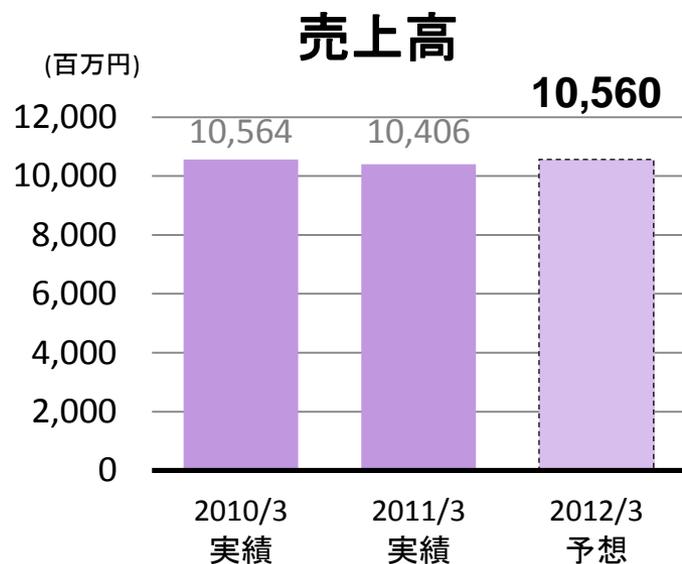
# 電子事業業績予想



(百万円)	2010年3月期 実績	2011年3月期 実績 A	2012年3月期 予想	
			B	増減(B-A)
売上高	4,825	4,879	4,810	△71
セグメント利益	253	962	790	△173

事業環境悪化に伴う受注減少などが原因となり、売上高は対前年で若干の減収となる見込み。メンテナンス費用が下期に計上される予定もあり、セグメント利益は減益の見通し。

# 出版事業業績予想



(百万円)	2010年3月期 実績	2011年3月期 実績 A	2012年3月期 予想	
			B	増減(B-A)
売上高	10,564	10,406	10,560	154
セグメント利益	1,438	2,053	1,650	△405

新刊商品及びシリーズ改訂商品の出版によって、売上高は前年実績を上回る見込みであるものの、返品増加の懸念があり、セグメント利益は対前年で減益の見通し。

# 分類別売上高予想

(百万円)	2010年3月期 実績		2011年3月期 実績		2012年3月期 予想		
	実績	構成比	実績(A)	構成比	予想(B)	構成比	増減(B-A)
電子売上	4,771	31.0%	4,824	31.6%	<b>4,761</b>	<b>31.0%</b>	<b>△63</b>
市販出版物合計	8,994	58.4%	8,983	58.8%	<b>9,054</b>	<b>58.9%</b>	<b>71</b>
地図	4,572	29.7%	4,375	28.6%	<b>4,265</b>	<b>27.8%</b>	<b>△110</b>
雑誌	3,431	22.3%	3,437	22.5%	<b>3,713</b>	<b>24.2%</b>	<b>276</b>
ガイドブック	976	6.3%	1,125	7.4%	<b>1,062</b>	<b>6.9%</b>	<b>△62</b>
実用書	14	0.1%	43	0.3%	<b>12</b>	<b>0.1%</b>	<b>△31</b>
特別注作品	850	5.5%	747	4.9%	<b>911</b>	<b>5.9%</b>	<b>164</b>
広告収入	718	4.7%	675	4.4%	<b>595</b>	<b>3.9%</b>	<b>△79</b>
手数料収入	54	0.4%	55	0.4%	<b>47</b>	<b>0.3%</b>	<b>△8</b>
合計	15,390	100.0%	15,285	100.0%	<b>15,370</b>	<b>100.0%</b>	<b>85</b>

# 5. 2012年3月期 第2四半期までの取り組み



# 第2四半期までの主要リリース情報

4月

- 旅・観光情報サイト『MAPPLE 観光ガイド』リニューアルオープン
- 『工場見学』シリーズに、『京阪神版』『東海・北陸版』の新ラインナップ追加

5月

- 『東日本大震災 復興支援地図』を作成、被災地の災害対策本部などへ無償提供実施
- ゴルフGPS 計測ナビ & シミュレーション iPhone向けアプリ 『GOLFな日』発売

6月

- 多機能地図ソフト『スーパーマップル・デジタル12』発売

7月

- 全国1,000店以上の書店で「東北応援フェア」開催
- ことりっぷアプリとJALのタイアップ企画『ことりっぷJAL沖縄』無料提供(期間限定)

8月

- 『震災時帰宅支援マップ 首都圏版』最新版発売

9月

- 『ことりっぷiforte(アイフォルテ)』創刊

# 第2四半期までの主要発売商品



## 東日本大震災 復興支援地図

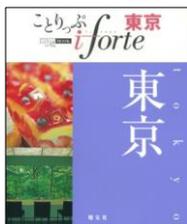
- ・東日本大震災の復興支援の一環として作成
- ・津波の被害の大きかった太平洋沿岸地域を網羅。避難所の位置や道路の通行規制箇所も掲載
- ・売上の一部を義援金として寄付



## GOLFな日

企画開発・販売  
株式会社マップル・オン  
(連結子会社)

- ・日本全国約2,350か所のコースデータが収録されたiPhone専用アプリ
- ・GPS計測によって、プレー中に飛距離などを表示させることが可能



## ことりっぷ iforte

- ・累計発行部数500万部超の大人気ガイドブック『ことりっぷ』のムック版
- ・毎日をもっと楽しく上質に過ごすための旅&街歩き情報誌
- ・『東京』『鎌倉』『京都』『大阪』『沖縄』が同時発行。ラインナップは順次追加予定



# 6.

## 今後の経営戦略



# 経営戦略

## すべての事業に共通する企業理念

人々に旅やおでかけの特選情報を提供し、  
幸せの記憶となる体験のお手伝いをする

## 今後の取り組み

- ✓ 成長の見込めるスマートフォン市場でのアプリケーションの本格的な提供
- ✓ PND市場での『マップルナビ』のさらなるシェア拡大
- ✓ 新刊・改訂商品の出版

# 電子事業の経営戦略1

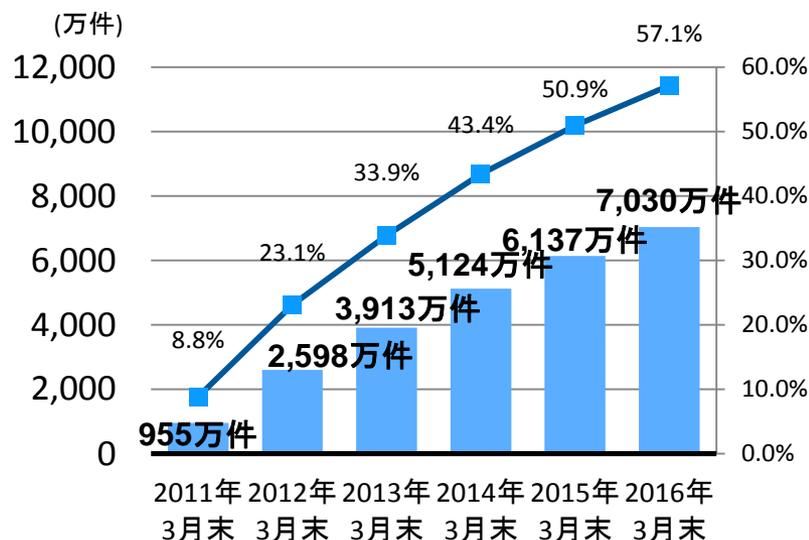
## 重点的な取り組み

### 拡大するスマートフォン市場への商品投入

- ✓ 2015年度末 7,000万件の契約数になると予測されるスマートフォン市場への商品投入



【スマートフォン契約数・比率の推移・予測】



出典: (株) MM総研 [東京・港] スマートフォン市場規模の推移・予測(11年7月)

©Shobunsha Publications, Inc. All rights reserved.

# 電子事業の経営戦略2

## 重点的な取り組み

### PND市場での『マップルナビ』のシェア拡大

- ✓ 企画・開発を一貫して手掛けることのできる優位性を生かし、PND市場でのさらなるシェア拡大へ

#### マップルナビの特徴

『まっぷるマガジン』のグルメ、おでかけ情報を搭載した、楽しいコンテンツ

楽しい



昭文社の地図表現ノウハウを生かした、きれいで分かりやすい地図

見やすい



高速スクロールの実現、操作のしやすさの追求

使いやすい

# 出版事業の経営戦略

## 重点的な取り組み

### 時代の流れを的確にとらえた商品の出版

#### ✓ 新刊商品、シリーズ改訂商品の積極的な出版

- ✓ 『県別対抗! B級ご当地グルメ』(10月20日出版)

【近年のヒット商品】

出版年	商品名
2005年	『帰宅支援マップ』
2008年	『ことりっぷ』
2011年	『工場見学』

### ロングセラー商品による安定した収益の確保

- ✓ 市場在庫・需要を勘案したうえでの適正な出版計画の実施
- ✓ コスト削減への取り組み

【ロングセラー商品の例】

商品名
『スーパーマップル』
『県別マップル』
『まっぷるマガジン』

# 注意事項

この資料に記載されている当社の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的  
事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは発表日現在  
において入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいて  
おります。

実際の業績は、多様な要因によって、これらの業績見通しと大きく異なる  
結果になりうることをご承知おき願います。

これらの業績見通しに全面的に依拠して、投資判断を行うことは控えら  
れますようお願いいたします。